

砂丘

発行：独立行政法人 国立病院機構

鳥取医療センター

発行責任者：下田 光太郎

理念

1. 人類愛に基づく、質の高い医療を提供する。
2. 患者本位の医療体制を確立し、十分な説明と同意の下に、自由意志を尊重し、人としての尊厳を守る。
3. あらゆる情報の公開に努め、医療人としての自己研鑽に努める。

トピックス

1. 平成27年度鳥取医療センターの目標
2. 第8回院内看護・臨床研究発表会
3. もの忘れ診療について



平成27年度鳥取医療センターの目標

独立行政法人国立病院機構は平成27年4月より独立行政法人通則法改正により中期目標管理法人となります。国立病院機構が果たすべき役割は一定の自主性及び自律性を発揮しつつ、国民の需要に的確に対応した多様で良質なサービスの提供を通じた公共の利益の増進を推進する事です。役職員の身分が国家公務員でなくなる事から、国家公務員法から外れ、組織規程、就業規則、服務規程等々が改正されます。国立病院機構の提供する医療は今まで同様に地域医療を行いつつ国の政策医療としてのセーフティネット系医療を担っていく事に変わりありません。今まで以上に患者目線にたち科学的なエビデンスに基づいた最新最善の医療を求められています。当院のセーフティネット系医療や地域医療で求められるものは独立行政法人時代と大きく変わる事はありません。これから国の施策は団塊の世代が後期高齢者となる平成37年まで、地域包括ケアシステムの構築に向けた医療・介護体制の整備が加速します。当院も政策医療を担いつつ地域での役割を明確にし、医療・介護の連携を今まで以上にはかってまいります。皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

さて本年は平成17年7月に統合新病院鳥取医療センターとなって10周年となります。多くの方々のお陰で当院は10年を迎える事ができ職員一同感謝申し上げます。10年を振り返り7月4日に記念式典を開催いたします。多くの関係者や職員並びに旧職員の方々のご参列をお待ちしております。よろしくお願いいたします。



鳥取医療センター 院長
下田 光太郎

第8回 鳥取医療センター 院内看護・臨床研究発表会

臨床研究部長 小西 吉 裕

今年の1月29日、30日に、毎年恒例の当院の看護・臨床研究発表会が開催されました。早いもので、平成26年度のこの発表会で第8回を数えます。本研究会は、いろいろな部署の職員が日頃の研究成果を発表することにより、お互いが何に興味を持って研究しているのか理解し合い、それが元で共同研究が生まれます。良い研究成果が院外へ情報発信され、ひいては鳥取県のみならず、日本の、世界の保健・医療・福祉の増進、学術・文化の振興に寄与することを目的としています。現に、本研究会で発表された研究成果が学術誌「鳥取臨床科学研究会誌」に発表されることで、日本全国のいろいろな大学や病院から論文の別刷請求が来ていまして、まさに日本中へ情報発信されているのです。そういう目的から、本研究会は院内職員だけでなく、鳥取県東部の主だった病院および施設、東部医師会へ案内状を出しておりまして、院外からも参加して頂いています。

今回は16演題で、看護部をはじめ、リハビリテーション科、薬剤科、臨床研究部から発表がありました。研究会終了後にアンケートを毎回実施していますが、今回とくに好評だったことがあります。それは、5セッションに分け、各セッションを3～4演題で構成し、各セッションでその座長が最も印象に残った発表を選考して、セッション終了ごとに発表・表彰したのです。ささやかな賞品を添えました。どこを表彰するかは座長に一任しました。

また、毎回、外部講演者の講演内容が難し過ぎるといふ意見があり、今年はコメディカルの皆さまを対象とし

た話ができる方を2名招待しました。第1日目は、兵庫医療大学リハビリテーション学部理学療法学科から野崎園子先生をお招きし「神経・筋疾患の食と服薬へのアプローチ」という演題名でお話しを頂きました。その中で、服薬困難の問題を摂食・嚥下障害の1つとして取り上げられたのは、全くもってユニークな話題でありました。第2日目は、岡山県立大学保健福祉学部から平松智子先生をお招きし「糖尿病の食事療法ー最近の話題からー」という演題名でお話しを頂きました。その中で、日本の会席料理で「ご飯」が最後に出てくるのは、血糖値から見るとまさに理に適ったものだという興味深いことをお話しされました。

さらに、本来は開催日に合わせてサテライトシンポジウムを開催する予定でしたが、先方の都合で1月6日に、北京大学神経内科首席教授の崔徳華先生を招待し、「アルツハイマー病の早期診断と治療」につき御講演を頂きました。先生は中国の認知症研究の第一人者で、たいへん素晴らしい講演を拝聴しました。特に、多職種によるアプローチ・必要性を訴えられましたが、これは世界的に共通する課題に共感しました。

本研究会にて、例年にも増して活発な討議ができて、嬉しい限りです。ここで1つ、皆さまにお願いしたいことは、「発表だけでは、その印象・記憶は直に消えてしまします。情報発信を全国レベルにするには、それを

活字にしなくてはなりません。是非とも、鳥取臨床科学研究会誌にその成果を出して頂きたい」と思っています。

この会を始めた頃は臨床研究部と看護師長・副部長だけで準備・運営していましたが、最近は看護部の教育研修運営委員会・教育研修推進部会・看護教育委員会、並びにリハビリテーション科に組織的な協力を頂き、協力というよりも多職種が率先して行っている会に成長していますことを大変嬉しく思います。



● もの忘れ診療について ●

神経内科診療部長 高橋 浩 士

当院でのもの忘れ診療を開始して、はや6ヶ月が過ぎました。皆様のご支援ご協力厚くお礼申し上げます。もの忘れ診療開設のいきさつにつきましては「砂丘」No.38に既にかかれておりますので、ここではこれまで語られていない「当院におけるもの忘れ診療の特長」について少し述べさせて頂こうと思います。

当院のもの忘れ診療の一番の特長は「正しい診断、正しい治療」へのこだわりにあります。

患者の皆様は少し驚かれるかもしれませんが、これは、当たり前のように実はとても難しい事です。20年ほど前の事になりますが、認知症の名医とされていた精神科の先生の外来での診断とその患者さんがお亡くなりになったあと解剖してついた診断の一致率(正診率といいます)は約50%でした。昔は認知症といえば、アルツハイマー病と脳血管性認知症でしたから、その正診率は棒倒しとさほど変わらなかった事になります。また、内科医1,000名へのアンケート調査では、専門外の診療で困っている病気の第1位は認知症で苦慮率40%でした。開業医の先生方に、忙しい外来のなか、時間のかかる認知症の診療を短時間でしかも鑑別診断まで行なう事を要求するのははっきり言って酷です。加えて、近年、認知症には様々な種類がある事が明らかになってきています。特に80歳以上の高齢者では、あるタイプの認知症が誤診されており、アルツハイマー病と診断された2割近くも占める事がわかってきました。しかもこの病気にはアルツハイマー病の薬は効きません。しかし幸いな事に進行が遅いので正しい診断をして、見守っているのが一番という事になっています。当たり前のように、正しい治療には正しい診断が大切なわけです。

当院では、この正診率をあげるべく、「多職種によるチーム医療体制」を整えております。患者さんやご家族の中には少しお疲れになる方もありますが、ふつうでは時間制約及び採算性のために難しいところをおして、当院では認知症鑑別診断のためにグローバル・スタンダードを満たす各種神経心理学的検査をじゅうぶんにこなしています。そして週1回

「もの忘れ診療カンファランス」を開催し、ひとりひとりの患者さんにつきスタッフ一同十分に診断・診断につき検討し、その情報を地域のかかりつけ医の先生方にフィードバックすることで、より良い医療を推進するよう努力しております。人口が多くなく、人の流動性も少なく、地域密着型の福祉が行き届きやすいことが、鳥取県の長所であり、一人当たりの老人福祉費もトップクラスにランクされています。かかりつけ医の先生方と連携し、ご家族の理解のもとに地域完結型医療を行なって参りますので、今後ともよろしくご依頼申し上げます。



NHO 鳥取医療センター

もの忘れ診療開設

もの忘れ・・・年のせいと思いませんか？
認知症の早期発見、早期治療を！

【診察日】 月曜日(午後) 水曜日(午前) 金曜日(午前)
【担当医】 神経内科医 ※診察は完全予約制です。

独立行政法人 国立病院機構
鳥取医療センター

【予約・相談窓口】
地域医療連携室
〒689-0203 鳥取県鳥取市三津 876
【電話】 0857-59-1111(代表)
【FAX】 0857-59-0713(直通)
※お気軽にご相談ください。
専門スタッフが対応させていただきます。

※もの忘れ外来の受付方法などは、当院ホームページ <http://tottori-iryo.jp/> をご参照下さい。またご相談などありましたら当院地域医療連携室にご相談下さい。

○ 転入者ご挨拶 ○

①氏名 ②職場・職名 ③出身地 ④趣味・スポーツ等 ⑤皆さんの当院での夢や希望

①松浦 敏夫

②事務部管理課長

③旧東伯郡赤碓町

④見かけによらず多趣味

⑤30年前に旧西鳥取病院に転勤したときは事務職で一番の若手でしたが、今回は最高齢組です。残り少ない人生(定年まで)大きな希望はありませんが、元気で終われば最高と思っています。



①近藤 享繁

②事務部企画課経営企画室長

③広島市

④広島カープの応援

⑤7年ぶりの鳥取医療センター勤務となります。7年前と比べると、重症心身障がい児(者)病棟の更新、医療観察法病棟の開始、回復期リハ病棟の開始、電子カルテの導入など、いろいろと新しくなっていると感じます。微力ながら病院に貢献したいと思っていますので、よろしくお願いします。



①小谷 弘幸

②事務部管理課庶務班長

③鳥取県

④発表できるような立派な趣味はありません。

⑤前回は旧西鳥取病院から鳥取医療センターまで勤務し、柳井病院と南岡山医療センターで修行させてもらい再度鳥取医療センター勤務となりました。すでに周りに多大なる迷惑をかけてますが、きっと私にはできると信じて、できることからやっっていこうと思っています。どうか暖かい眼で見守って下さい。



①三好 浩一郎

②薬剤部・薬剤部長

③広島県

④DVD鑑賞

⑤薬剤部として微力ながらチーム医療に協力し、経営に参画できたらと思います。



①岡田 昭人

②放射線科・撮影透視主任

③岡山県岡山市

④家族でお出かけ

⑤毎日、慣れない環境に右往左往しながらの業務が続いています。放射線科の技師は2人なので、早く職場に慣れて協力ができるようにしていきたいです。3テスラのMRI装置の導入に備えて、新しい撮像技術や検査方法について勉強していきたいと思っています。



①森 達也

②リハビリテーション科・作業療法主任

③京都府

④デジタル機器、ラジオ

⑤松江医療センターから転勤で参りました。私の希望は、患者さんだけでなく、家族、職員も笑顔になる環境が理想です。また、院内は景色が良いので憩いのスペースが増え、喫茶店でもあれば良いと思います。また、発表もしていきます。よろしくお願いします。



①正富 浩子

②栄養管理室・栄養管理室長

③千葉県

④ジャニーズ系DVD鑑賞・温泉巡り

⑤山陰方面の勤務は初めてです。日本海の眺めが印象的で、好みの泉質の温泉がたくさんあり、しかも安価で嬉しく思っています。寒さに弱く冬の積雪も不安ですが、早く、この地に慣れて、微力ながら患者さまが食生活を通じて満足していただけるよう頑張っていきたいと思います。よろしくお願いします。



①佳川 浩子

②看護部・副看護部長

③鳥取県三朝町

④旅行

⑤約20年ぶりに帰ってきました。新人の頃当院に入職し、看護での学びや喜びをたくさん教えて頂きました。今の私の核になっています。より良い医療・看護の提供のために、努力していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



○ 転入者ご挨拶 ○

①氏名 ②職場・職名 ③出身地 ④趣味・スポーツ等 ⑤皆さんの当院での夢や希望

①野田 洋平

②リハビリテーション科・作業療法主任

③熊本県

④お酒・魚釣り

⑤この度、広島県の東広島医療センターより転入してきました。鳥取の地はイメージと異なり過ごしやすく、リハビリテーション科の仲間からも優しく受け入れてもらい、楽しく仕事が出来ております。酒の席で人数が足りないなんてことがありましたら誘ってください。



①山崎 みどり

②6病棟・看護師長

③鳥取市

④音楽鑑賞

⑤宍道湖が懐かしく思いますが、発着陸直前の飛行機が雄大な日本海を飛び姿や湖山池に癒されています。色々ご指導をよろしくお願い致します。



①上田 素子

②5病棟・看護師長

③広島市

④食べ歩き

⑤はじめまして。鳥取医療センターに来て、毎日、亀さんや日本海、湖山池に癒されて、元気をもらっています。重度心身障がい児・者病棟は、初めてですが、患者さん、スタッフが毎日笑顔で過ごせるように頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いします。



①鹿嶋 理絵

②5病棟・看護師

③倉吉市

④特になし

⑤岡山から地元の鳥取に帰ってきました。鳥取医療センターで、看護師としての技術・知識を高め、重心自病棟の患者さんの療養生活を支援していく手助けができるような看護師に成長できるようにがんばります。よろしくお願いします。



○ 新職員ご挨拶 ○

①氏名 ②職場・職名 ③出身地 ④趣味・スポーツ等 ⑤ひと言

①馬庭 和希

②事務部企画課・契約係

③島根県出雲市

④写真撮影

⑤馬庭と申します。サポテンと楽しく暮らしています。早く仕事を覚えられるように頑張ります。よろしくお願いいたします。



①門野 恵莉

②薬剤部・薬剤師

③兵庫県

④スポーツ観戦

⑤新人薬剤師でまだまだ未熟者ですが、この病院で学べるものをたくさん吸収し、医療に貢献したいと思います。



①山成 考寛

②リハビリテーション科・理学療法士

③山口県

④野球

⑤北九州の学校から来ましたリハビリ科の理学療法士山成考寛です。リハビリ科の目標である笑顔発信を実行できるように精進していきます！よろしくお願いします。



①宮口 真梨花

②リハビリテーション科・言語聴覚士

③広島

④音楽鑑賞

⑤はじめまして。4月から言語聴覚士として働かせて頂く宮口と申します。みなさんと一緒に明るく笑顔で頑張っていけたらと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。



● 新職員ご挨拶 ●

①氏名 ②職場・職名 ③出身地 ④趣味・スポーツ等 ⑤ひと言

①高田 圭佑

②リハビリテーション科・言語聴覚士

③広島県

④バスケットボール

⑤はじめまして。リハビリテーション科の言語聴覚士の高田圭佑です。明るく元気に一生懸命頑張っていきますので、よろしくお願い致します。



①横田 嘉子

②リハビリテーション科・言語聴覚士

③鳥取県

④韓流ドラマ・バスケット

⑤「お帰り！」と迎えて下さる皆さんに、こわばった顔の私…。リハ科の若さを吸い取りながら、とにかく頑張ります。よろしくお願い致します。



①林 光星

②3病棟・看護師

③琴浦町

④サッカー観戦

⑤はじめまして、この度3病棟に配属になった林光星です。まだまだ未熟でわからないことが多いですが患者さんと関わりながら成長できるよう頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。



①山内 佑紀子

②7病棟・看護師

③米子市内

④音楽鑑賞

⑤社会人になったばかりで分からない事ばかりですが、先輩看護師さんに助けられながら頑張ります。よろしくお願い致します。



①河原 万理恵

②9病棟・看護師

③鳥取県

④バレーボール

⑤4月から、お世話になっています。先輩方に教わりながら、日々成長していきたいと思いますので、よろしくお願い致します。



①森田 名都

②1病棟・看護師

③米子市

④睡眠

⑤先輩方のご指導のもと、患者さんの日々の生活を支えていけるように頑張っていこうと思います。よろしくお願い致します。



①藤川 華鈴

②2病棟・看護師

③倉吉市

④楽器演奏、スポーツ

⑤初めてのことがたくさんあり、不安でいっぱいですが、一つ一つ丁寧に学んで吸収していきたいです。よろしくお願い致します！！



①林 健太郎

②4病棟・看護師

③島根県

④サッカー

⑤いろいろとご迷惑をおかけしますが、よろしくお願い致します。体力と忍耐には、自信がありますのでどうか暖かく支えて下さい。



①野村 竜彦

②8病棟・看護師

③兵庫県

④読書

⑤時間がかかるかもしれませんが、人の役に立てるように頑張ります。よろしくお願い致します。



①米原 多恵

②1病棟・看護師

③鳥取県

④剣道、ジム

⑤余暇とバランスを取りつつ、患者さんに寄り添う看護を行いたいです。まずは毎日遅刻せず出勤するところから頑張ろうと思います。よろしくお願い致します。



○ 新職員ご挨拶 ○

①氏名 ②職場・職名 ③出身地 ④趣味・スポーツ等 ⑤ひと言

①中山 聖樹

②2病棟・看護師

③鳥取市

④野球

⑤毎日わかりやすく愛のこもったご指導のもと頑張っています。早く戦力になれるよう先輩方の姿をみながら学んでいきたいと思いません。よろしくお願いします！！



①丸尾 恵津子

②8病棟・看護師

③鳥取市

④旅行

⑤初めての病院勤務で覚える事もたくさんありますががんばりたいと思います。



①岡村 晴菜

②6病棟・看護師

③鳥取市

④映画鑑賞

⑤まだ色々分からないことばかりですが、できるだけ早く仕事に慣れるよう頑張りますのでよろしくお願いします。忙しくても笑顔で仕事ができるよう心がけたいです。



①橋本 卓郎

②9病棟・看護師

③鳥取県

④映画鑑賞

⑤この春からお世話になります。まだまだ分からないことばかりですが、精いっぱい頑張りますのでよろしくお願いします。



①永美 佑太

②7病棟・看護師

③鳥取市

④車・モンスター

⑤看護師としては4年目になりますが、精神科での勤務は初めてで、分からないことだらけですが、初心に戻って勉強していこうと思っています。よろしくお願いします。



①井上 あづさ

②1病棟・看護師

③兵庫県

④読書・映画鑑賞

⑤患者さんに寄り添った看護を日々考えながら頑張っていきたいと思えます。よろしくお願いします。



①北村 直子

②9病棟・看護師

③鳥取市

④料理(たまには飲みながら)

⑤地域で働きたいと思い、やってきました。最寄在住です。看護師歴はありますが、心機一転頑張ります、よろしくお願いします。



①長江 和香

②6病棟・看護師

③北栄町

④DVD鑑賞

⑤仕事にまだ慣れておらず、分からないところだらけですが、精一杯頑張るのでよろしくお願いします。また、気分転換をしつつ、新生活に慣れていきたいです。



①森田 佑介

②1病棟・看護師

③鳥取市

④食事・睡眠

⑤人にやさしく、自分にやさしく。



①谷口 和香奈

②栄養管理室・栄養士

③鳥取県

④買い物

⑤仕事を覚えるまで皆様に迷惑をかけると思いますが、日々努力し頑張っていきたいと思えます。よろしくお願いします。



○ 新職員ご挨拶 ○

①氏名 ②職場・職名 ③出身地 ④趣味・スポーツ等 ⑤ひと言

①木下 優子

②2病棟・看護助手

③鳥取市

④映画鑑賞

⑤病院での業務は初めてですが、早く仕事を覚えて、皆さんの力になれるよう一生懸命頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



①田中 寿子

②2病棟・看護助手

③鹿野町

④卓球

⑤初めての医療現場での仕事に、緊張の毎日が続いています。早く気持ちに余裕を持って仕事ができるよう頑張ります。



①濱田 由香

②5病棟・看護助手

③鳥取県

④アロマセラピー

⑤4月より看護学校に入学と同時に鳥取医療センターでも勤務させて頂くことになりました。よろしくお願いします。



①加藤 玲奈

②4病棟・看護助手

③鹿野

④バレーボール

⑤全く初めての職種ですが、一生懸命がんばりたいと思います。色々な知識を少しずつ学んでいきたいです。



● 私の趣味(my favorite) ●

山 登 り

看護師長 國 森 佳 子

看護学生の時に友達と大山登山に挑戦しました。結果は、皆に遅れまいとハイペースで歩き、口から心臓が飛び出すのではないかと思うほど「えらかったー」。その時に絶対山登りはしないと決心したのです。ところが、一緒になった夫は、何と『山男』だったので。

所属していた山岳会では、夏山家族登山があり毎年子供達と3000m級の山々へ登山に行きました。なぜ、『絶対山登りはしない』と決めた私が山に登れたか？というと、ゆっくりでも小股で少しずつ足を前に出せ

ば目指すピークへ登れることや、一番遅い人のペースに合わせて皆と一緒に登ることを知りました。ベテランが先頭でペースメーカーとなりリーダーは後ろを歩きます。また、汗かいて、風呂にも入らず汚い布団での山小屋泊まりは衝撃でしたが、いつの間にか慣れました。(下山したら、温泉とビールが待っているから)

最近では、ハイキングとキャンプ・温泉を楽しんでいます。

ボルネオ島
キナバル山山頂



甲斐駒ヶ岳山頂付近

剣岳山頂



今年2月、同科の同僚と念願のブラジルリオのカーニバルツアーに参加しました。

カーニバルは予選と本選に分かれており、私達は本選で上位入賞した5チーム(1チームあたり80分)が繰り広げる豪華絢爛なチャンピオンパレードを10mの距離から朝まで観戦しました。色とりどりに着飾ったダンサーと煌びやかな山車が約500万人の観客を魅了し、それはまるで壮大な舞台のようでした。花火あり、空中からのパフォーマンスあり、軽快なサンバに包まれて夢のような幸せな時間を過ごすことができ、早く送り出してくれた同科スタッフに心から感謝しています。

ツアーのメンバーの多くが年配の方でしたが、ツアー最終日、お一人の方が誕生日であること

が分かり、経由地のドバイにてささやかなプレゼントと手紙を贈りました。大変喜んで下さり、帰国後にもお礼のお手紙を頂くなど、そのような一期一会のご縁によって、この旅行がより心に残るものとなりました。出会った多くの方々へ…オブリガーダ。



● 連携病院ご紹介 ●

—中島整形外科医院—

昭和61年10月に雲山団地に開業してもう30年近くになります。当初は19床の有床診療所で開業しました。麻酔も手術も看護師さんとやっておりましたが、しばらくして麻酔医の先生の協力が得られるようになり大腿骨頸部骨折に対して、CHS,人工骨頭まで細々ではありますがやっておりました。平成13年に無床とし現在はパートの方も含めて9人で外来診療と理学療法をやっております。

CT,MRIなどももちろんありませんので病院にお願いしております。しかし、脊椎圧迫骨折や手根骨や足根骨骨折など判りにくい骨折の有無を知りたい時非常に困っておりましたが、東部医師会の会合の折、鳥取医療センター 院長の下田先生よりMRI検査が必要な時はまだ余裕がありますよと言われましたので、急性に腰背部痛がありX-P上圧迫骨折が疑われる場合は地域医療連携室に連絡させていただきMRI検査をお願いしております。大変感謝しております。

(中島整形外科医院 院長 中島 公和)



※中島整形外科医院

住所 〒680-0861 鳥取市新9 3-5

電話 0857-24-6511

外来受付時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
8:30~12:30	●	●	●	●	●			
8:30~17:00						●		
14:30~18:30	●	●	●		●			

外来受付時間・休診日は診療科目によって異なることや変更になっている場合があります。事前に必ず医院に直接ご確認ください。

休診日: 日・祝

備考: 木曜AMのみ 土曜AMのみ

外来診療科担当医表

独立行政法人国立病院機構鳥取医療センター

平成27年4月1日現在

		月	火	水	木	金	
内科	循環器	松本		松本	松本	松本	
	呼吸器	山本	山本	山本			
神経内科	1	高橋	齋藤 (てんかん)	井上	金藤	土居充	
	2	下田	下田	金藤 (職下外来)	土居充	房安	
	3	小西		齋藤	小西 (井上)		
	4	房安		北川	三島		
	5						
	専門外来 (予約制)	失語症 パーキンソン病 高次脳機能障害	失語症 パーキンソン病 高次脳機能障害 てんかん	失語症 パーキンソン病 高次脳機能障害 嚥下障害 てんかん	失語症 パーキンソン病 高次脳機能障害	失語症 パーキンソン病 高次脳機能障害	
もの忘れ外来		高橋 (午後)		下田 (午前)		小西 (午前)	
小児科		中野	小松	赤星	中野	赤星	
	専門外来 (予約制)		発達外来 赤星	発達外来 中野			
精神科	初診	診察室1	坂本	休診	助川	休診	
		完全予約制ですので事前の予約が必要です。					
	再診	診察室1		助川	土井清	高田	坂本
		診察室2		坂本		助川	土井清
		診察室3		岩田		幡	柏木
		診察室5		池成			林
		診察室6					
診察室8							
専門外来 (予約制)				睡眠外来 坂本・高田			
外科		古澤	古澤	古澤	古澤	古澤	
整形外科 (隔週：8:30~13:00)			市立病院 医師				
リハビリ入院相談 (13:00~15:00)	地域医療連携室	齋藤	齋藤	齋藤	齋藤	齋藤	

- ◆所在地 〒689-0203 鳥取県鳥取市三津876番地
- ◆電話 0857-59-1111
- ◆診療受付時間 午前8時30分~午前11時30分
- ◆専門外来診療時間 午後1時30分~午後3時00分(睡眠外来の受付時間は午前中です)
- ◆休診日 土曜日・日曜日・祝日・年末年始、ただし、急患の方はこの限りではありません。
- ◆ホームページ <http://tottori-iryo.jp/>
- ◆地域医療連携室 TEL 0857-59-1111 (内線275) FAX 0857-59-0713